

第1号議案 2025年(1月~12月)事業報告および収支決算

一般社団法人日本教育工学会が2025年(1月~12月)に実施した事業は、次のとおりである。

(1) 代議員総会

・一般社団法人日本教育工学会第41回代議員総会を、成城大学及びオンライン会議にて開催した(2025年3月7日)。

(2) 全国大会

・2025年春季全国大会を、成城大学にて対面で開催した。一般研究発表の一部でオンラインセッションを設けた(2025年3月8日-3月9日)。一般研究発表は口頭発表形式で行われ、347件の発表がなされ、918名の参加者があった。

・2025年秋季全国大会を、ウイנקあいちにおいて対面型にて開催した(2025年9月27日-9月28日)。一般研究発表はポスター形式で行われ、415件の発表がなされ、参加者は1,115名であった。

・各大会において「大会講演論文集」を刊行し、申込者に配布した。

(3) 編集委員会

・「日本教育工学会論文誌」第49巻1号~3号を編集・刊行した。

・教育システム情報学会との合同英文誌“Information and Technology in Education and Learning”(ITEL)第5巻1号を編集・刊行した。

・和文誌翻訳校閲を行い、ITELへの投稿を勧めた。

(4) 研究会委員会

次の研究会を開催した。なお、発表内容を、「日本教育工学会研究報告集」JSET25-1~JSET25-4としてJ-Stageに公開した。

① 「教師教育・高等教育/一般」研究会(2025年5月24日:京都外国語大学)

発表41件、参加者114名

② 「生涯学習・教材開発/一般」研究会(2025年7月5日:北海道大学札幌キャンパス)

発表61件、参加者125名

③ 「一般」研究会(2025年10月18日:オンライン開催) 発表31件、参加者数104名

④ 「学習科学・授業研究/一般」研究会(2025年12月13日:中央大学茗荷谷キャンパス) 発表63件、参加者数156名

(5) 広報委員会

・電子版「ニューズレター」No.279~No.290を刊行し、学会ホームページに公開した。

- ・ Web ページとメールマガジン型のニュースレターにより学会活動をタイムリーに広く広報した。

(6) 国際委員会

- ・ 秋季全国大会において、以下の企画を実施・開催した。
 - ・ 「新たな価値を創造する研究の国際化：はじめての国際会議から継続的な国際共同研究まで」をテーマにシンポジウムを開催した。
 - ・ 「国際会議デビューを成功させる英語プレゼンテーション 101～AECT 国際会議で発表してみませんか?～」を開催した（参加者数 87 名）。
- ・ 海外の学協会との連携を促進した。
 - ・ AECT-JSET Meet and Greet（オンラインイベント、2025 年 5 月 2 日（金））を開催し、両学会から 38 名の参加があり、交流を深めた。
 - ・ AECT 大会へ JSET から 2 名が出席し、JSET Session を開催し、交流を進めた。
 - ・ CAET 大会へ JSET から 1 名が出席し、交流を進めた。
 - ・ 第 8 回日中教育工学フォーラムの開催準備を行った。フォーラム自体は中止となったが、それに代わる特別研究会を開催した（2025 年 12 月 7 日（日））。
 - ・ KSET 秋季学術大会において、JSET 会員による 2 件の発表を行い、交流を行った。
 - ・ 2026 年 JSET 春季全国大会における KSET 会員の参加促進・交流の準備を行った。

(7) 重点活動領域委員会

- ・ 「情報教育」「学習環境部会」「学習評価」「先端科学技術と ELSI」が、春季全国大会のセッションにて、これまでの活動報告を行った。
- ・ 「教育と AI」「学びの保障」を新たに発足した。

(8) SIG 委員会

- ・ 5 つの SIG が、セミナーやワークショップ等の活動を進めた。

(9) 顕彰委員会

- ・ 第 40 回研究奨励賞を選定し、秋季全国大会において表彰した。
- ・ 第 39 回論文賞を選定し、秋季全国大会において表彰した。

(10) 総務委員会

- ・ 学会の事務局運営の効率化を進めるとともに、規程等の整備を進めた。
- ・ 会員サービスのための DX をはじめとして、学会活動を支えるシステム更新・構築の検討を進めた。
- ・ メールサーバ、サービスサーバの移設を実施した。